

環境調査結果のお知らせ

平成26年4月18日午前10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1)

湾内の水温は17.9～18.7℃、塩分は21.3～32.2でした。前回調査時(H26.3.17)と比較して、水温は2～5℃上昇、塩分は1～12上昇していました。

溶存酸素量(表1)

湾内の溶存酸素量は7.4～11.8mg/lで、前回と比べて0.9～3mg/l増加していました。

プランクトン(表2・3)

透明度は1.8mでした。

検鏡の結果、有害種のヘテロシグマ・アカシオが少数確認されました。

海面の様子や魚等の生物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温・塩分・溶存酸素量

測定水深(m)	今回調査			前回調査(H26.3.17)		
	水温(℃)	塩分	溶存酸素量(mg/l)	水温(℃)	塩分	溶存酸素量(mg/l)
0	18.7	21.3	11.8	13.5	9.6	8.6
1	18.5	29.0	10.2	15.5	22.2	7.0
2	18.1	32.0	7.7	-	-	-
B-1	17.9	32.2	7.4	16.4	30.8	6.5

表2 水深・透明度

	今回	前回
水深(m)	3.5	2.7
透明度(m)	1.8	2.1

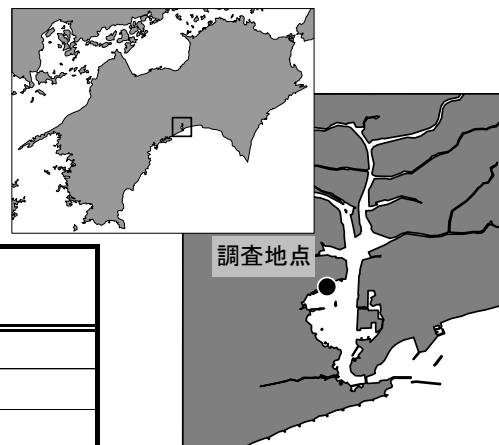


表3 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	ケイソウ類		
0	0	18,180		
1	250	13,820		
2	210	8,440		

漁業被害が想定される細胞密度
 ・ヘテロシグマ・アカシオ:
 10,000～50,000cells/ml(魚類のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>

麻痺性貝毒原因種 単位 cells/ml換算

水深(m)	ギムノディニウム・カテナータム	アレキサンドリウム属 (有毒種)
0	0.000	0.000
1	0.000	0.000
2	0.000	0.000

下痢性貝毒原因種 単位 cells/ml換算

水深(m)	ディノフィシス・アキュミナータ	ディノフィシス・フォルティ	ディノフィシス・コウダータ	ディノフィシス・ミトラ	ディノフィシス・ロツンダータ
0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.010
1	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
2	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

下痢性貝毒原因種が少数確認されました。